

Sarah 通信 21 号

第 21 号

2025 年 3 月 9 日

～肌デトックスの新習慣～

【ミニコラム】

意外に感じるかもしれませんが、日本人の肌質は白人や黒人に比べて、水分は少なく油分は多いのです。

日本には四季があるため、季節によって気温や湿度が大きく変化します。そして、高温多湿な時期があるために、皮脂腺が発達したと言われてい

ます。その結果、皮脂腺がある真皮層は厚く、逆に角層は薄く、白人の3分の2ほどしかありません。

ですので、欧米人と比べるとシワは出来にくいけど、老廃物が毛穴に詰まりやすく、くすみやすいという肌質の特徴があります。

この違いから基礎化粧品も使い方が異なります。

例えば、化粧水は日本人にとっては保湿のためのものですが、欧米では洗顔の代わりの拭き取りのためのものです。そして、もともとクリームは油分の少ない欧米人に向けて作られたもの。

日本人は化粧水好きと言われるのも、肌に不足しているものを無意識に自覚しているからなのかもしれませんね。

2025 年 3 月 9 日 Sarah の美容液がリニューアルします。

近年、美容に対する意識も多様化しており、大きくは二つの方向性に分かれつつあるように見受けられます。一つは、とことん化学成分や医療技術によって肌の機能をコントロールし、若々しさや美白を追求する方向。もう一つは、肌本来の力を引き出し、育むことで、自然な美しさを目指す方向です。

Sarah は常に、後者の「肌本来の力を引き出す」という考えに基づき、製品開発を行っています。なぜなら、老化とは細胞の機能が変化することであり、長い人生の期間、その機能を化学技術などでコントロールしつづけるには限界があるからです。長期的に見れば、細胞レベルで健やかな状態を保つことが、最良のエイジングケアにつながると考えます。

今回のリニューアルも、人が持つ肌本来の力を最大限に引き出すために、「必要な成分」と「そうでない成分」を厳選し、見直しました。

Sarah 美容液の特長

Sarah 美容液の最大の特徴は、ノンオイルなのに高い保湿効果を実感いただけることです。

「保湿＝油」は本当？

「化粧品」の世界では、保湿と油分は切っても切り離せない関係だと思われがちです。人の肌は、汗と皮脂が混ざり合った皮脂膜によって守られているため、水分と油分のバランスが重要である、という考え方が一般的だからです。そのため、「化粧水で水分を与え、美容液やクリームで油分を補う」というスキンケアが、1980 年代から現在に至るまで主流となっています。

しかし、日本人の肌は欧米人に比べて水分は少なく、油分はもともと多いのです。そして、肌が健康であれば皮脂は自力で出すことができます。

美容液に求められるもの

美容液の使命。それは、肌のバリア機能を守り、美肌菌を育むこと。

今回のリニューアルでは、美肌水で配合された美容成分に加え、パパイン酵素やフラレンを絶妙なバランスで配合し、肌のバリア機能を高め、お肌にハリと潤いを与えながらシミが気にならない肌へと導きます。

【美容液成分一覧】

オキナワモズクエキス

＊前回の美肌水でお伝えしたフコダインを豊富に含んだ藻類です。

- ・肌の保湿効果&バリア機能の強化
- ・シミやシワを作らない
- ・抗炎症作用

カバアナタケエキス (チャーガ)

- ・強力な抗酸化作用で肌の老化を予防
- ・肌の炎症作用を抑え、トラブル肌をケア
- ・肌のトーンを整える



＊参考画像 カバアナタケ

アロエベラエキス

- ・高い保湿力と鎮静作用
- ・肌の修復促進と炎症の軽減
- ・紫外線によるダメージをケア

ニガヨモギエキス

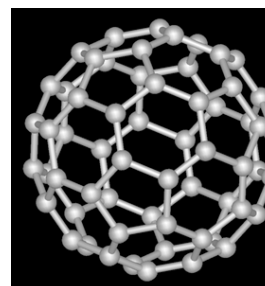
- ・抗菌・抗炎症作用でニキビを防ぐ
- ・皮脂バランスを整え、脂性肌のケアに効果的



＊参考画像 アロエベラ

フラレーン(植物由来)

- ・ビタミン C の数百倍といわれる抗酸化作用
- ・シワやたるみの予防・改善
- ・毛穴の引き締めや美白効果



＊参考画像 フラレーン

ケイ素(鉱物由来)

- ・コラーゲンやエラスチンの生成をサポートし、肌の弾力性を向上
- ・肌の再生を促す
- ・リフトアップ効果
- ＊テラヘルツ効果

パパイン酵素

- ・古い角質を分解・除去
- ・毛穴の詰まりを解消し、透明感のある肌へ